

検査の総合的視点では危険性小ということになるが、生徒が選んだ質問肢に目を当てると、そこから問題点や生徒の不満を読み取ることができる。生徒それぞれが質問肢ごとにどのくらい不満を感じているのかその度合いを再調査した。

(2) 検証のための手立て

一つ一つの質問肢から把握できた不満を欲求の表れとして押さえ、欲求を満たすための個別対応を設定し実践を進めた。

Y男の場合 (一例)

問 題	個 別 的 対 応
家庭不適応 A	<ul style="list-style-type: none"> 生徒自身への働き掛けを多くし、よく話し合い、何が原因であるかを生徒とともに考え、解決の糸口を見出す。
学校不適応 A ①学習が遅れている ②教師の注意の仕方に不満 ③学習の意味が分からない	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の欲求をとらえる。 能力が原因→生徒に応じての学習指導、授業での対応 認めてやる。 ・肩を叩いて励ます。
自己不適応 B ①妹にバカにされる ②なにをやってもだめだと思っている (認めて欲しい)	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の良い面を引き出し自信を持たせる。 いろいろな場面で引き立てる。 多様な価値観をもって当たる。
対人不適応 B ①親、教師に無視される	<ul style="list-style-type: none"> 不満、言い分を理解してやる (受容) 話し合いながら、理解しようという努力の気持ちも植え付ける。

(3) 二次欲求を生かす授業

<英語の教育相談的指導の例>

① 歌声が響く

導入では英語による歌を楽しく歌う。生徒が選曲し、発音を調べ、昼休みに声合わせをする生徒の自発的活動を見守った。

② 会話練習に熱が入る

興味あるものを会話に取り入れた。

S1 : what is the most exciting movie you have ever seen?
S2 : It is バットマン
How about you?

③ 友達を紹介する

The most exciting movie (友達の名前) has ever seen is バットマン

という友達のことを知らせる紹介文を考えさせた。これは、必ずケアレスミスがあることを予想しての紹介文である。上位の生徒B子が「～(友達の名前) has seenバットマン」と間違えた答えをいう。「なかなかいいと思うよ。三人称単数だからhasに変えるところなどはよく気が付いたね」B子はほっとした様子であった。

④ 自己表現に興味を示す

<p>5. 接触節を用いて、自己表現を行う</p> <p>(1) 自己表現を行う。</p> <p>I dreamed last night. In my dream, there was a house. It was ahouse</p> <p>(2) 発表する。</p>	<p>10</p> <p>○プリント(ドリーミングゲーム)を用いる。登場する家、ポット、建物、庭がそれぞれどのようなものであるかを接触節等を用いて表現させる。(既習の修飾表現を交えても良い。)</p> <p>○これは、一種の心理テストであり、生徒に興味を持たせながら、和英辞書を使って表現させる。また、机間巡視をしながら自己表現の手助けをする。</p> <p>3</p> <p>○項目(家、ポット等)ごとに</p>
---	---

机間巡視をするとY男の表現が「大きく新しい明るい部屋数の多い家」と表現していたので発表させた。発表後、「実は大きさは自分に自信があり～」と、説明を加え、「Y男君は自分に自信があって新しいものに挑戦しようとする人で、前向きで友達もたくさんいるってことなんだね。」と、言う、「そんなことないんだけどなあ」といいながらも、いつにない生き生きした表情でうなずいた。

○ 授業考察

このクラスは成績の序列ができ上がっていて、質問に答える生徒はいつも同じであり、互いに磨き合う意識は薄い。しかし、この授業では全員が何らかの活動をしており、紹介文を考える場面ではT子が積極的であったし、全員が意欲的に学習に取り組む姿が見られた。大きな声で発表し正解したT子はやや不満度の高い生徒ではあるが